

お仕事体験塾 2026 実施報告書



1 お仕事体験塾のねらい

「働く大人の想いにふれ、未来を創る人材を育てる」

- ・望ましい勤労観・職業観を身に付け、生涯にわたり生きる力を育む。
- ・出会った様々な大人の背中を見せることで、柏崎・刈羽を愛する心を育てる。
- ・地元の事業所が連携して未来を担う子どもたちの育成をする。

2 お仕事体験塾 当日の内容

(1) 日時

2026 年 8 月 23 日 (日) 8:30 ~ 16:00

(2) 会場

柏崎市立第一中学校

(3) 参加対象

柏崎市、刈羽村の小学校 4・5・6 年生

(4) 参加児童生徒数

事前の申込者数 : 99 名

当日の体験者数 : 95 名

(5) ボランティア・事業所 参加人数

ボランティア : 31 名

事業所 : 54 名

3 アンケート結果

今回のお仕事体験塾でも、参加した子どもたちを対象にアンケートを実施しました。体験全体の満足度調査については、満足したとの回答が 100%となり、多くの子どもたちが実際の仕事を体験することを楽しみ、充実した一日を過ごすことができたことがうかがえます。

また、「今回の体験は将来役立つと思いますか」という質問でも、肯定的な回答が 75.3%となりました。実際の仕事に触れることで、仕事の内容だけでなく、働くことの大切さや、普段とは違う視点から仕事について考えるきっかけになったと考えられます。

さらに、お仕事タイプ診断では、「新しく気になる仕事が見つかった」が 67.6%、「自分に向いているかもしれない仕事をもっと調べたい」が 88.6%となりました。この結果から、お仕事体験塾が子どもたちにとって、さまざまな仕事を知り、自分の興味や将来について考えるきっかけとなっていることが分かります。

体験した 17 の職業

1. フローリスト



ドライフラワーの色や配置を考えながら、「ガーランド」を制作しました。

花に触れながら、ものづくりの楽しさを感じました。

2. youtube クリエイター



動画の撮影を体験し、編集画面を見ながら、動画ができるまでの流れを学びました。

見る人に伝わる工夫や、発信することの面白さも学びました。

3. コンサルタント



話し合いをしながら課題について考え、意見を出し合う体験をしました。

相手の話を聞き、様々な視点で考える事の大切さを学びました。

4. スポーツ用品販売



スポーツ用品について説明を聞き、用具の特徴や扱い方について学びました。

実際の道具に触れ、スポーツを支える仕事の役割を知りました。

5. 家庭犬しつけインストラクター



実際に行っているトレーニングを体験し、犬とのコミュニケーションについて学びました。

犬の反応を見ながら声をかけることの大切さを体験しました。

6. 医師



医療クイズ、聴診器を使った模擬診察、点滴体験、心肺蘇生などを体験しました。

医療の仕事の責任や、人を助けるための技術を学びました。

7. 介護士



車いすに乗る・押す体験や認知症クイズを通して、介助と思いやりについて学びました。

相手の立場に立って考え、声をかけることの大切さを学びました。

8. 小中学校の先生



小学校の先生になり、国語や算数の授業をする側になってみるなどの体験をしました。

教える側の工夫や、みんなに分かりやすく伝える難しさを体験しました。

9. 建築士



住宅模型を使い、地震に強く丈夫な家づくりや耐震性について学びました。

みんなが安全で安心して暮らせる家を考える仕事の大切さを学びました。

10. ろうきん職員



お札の数え方と窓口での入出金受付を教わり、1億円分の札束（見本）を持たせてもらいました。

お小遣い帳をつける練習をし、お金の大切さと正確にお金を取り扱うことを学びました。

11. 和菓子職人



和菓子づくりを体験し、いろいろな道具や型を使って和菓子を作ってみました。

形を整える難しさを感じながら、職人の技術と工夫を体験しました。

12. 自動車整備士



エンジンオイルやウォッシャー液の確認、タイヤ交換などを体験しました。

車を安全に走らせるために、細かな点検と整備が大切だと学びました。

13. 天文学者



火星探査機について、秋山先生の分かりやすい解説とCG映像で興味深く学ぶことができました。

また、ペーパークラフトで火星を作り天体について楽しく学ぶことができました。

14. 電気技術者



高所作業車などの電気設備車両を見学・体験し、電気の復旧に必要な仕事を学びました。

電気を安全に届け、停電から人々の生活を守る仕事の重要性を学びました。

15. 保育士



体操や手遊び、おもちゃ工作、よみかせ体験などで、子どもを楽しませる事を学びました。

子どもたちが楽しく安心して過ごせるようにする工夫を体験しました。

16. 料理人



地元の夏野菜を使って、パスタづくりをし、おいしく見せるために盛り付けも工夫しました。

食材の生かし方や調理の手順を学び、料理をつくる楽しさを味わいました。

17. 庭師



日本や世界の庭、柏崎の庭師について学び、石を4本の紐で結ぶ「関守石」を作りました。

庭と密接に関わる「お茶」を点ていただき、庭の文化を体験しました。

4 実行委員会 考察

今回のお仕事体験塾でも、子どもたちが普段の生活ではなかなか体験することのできない仕事に直接触れることで、「仕事を知る」「仕事を体験する」「自分の将来を考える」という機会を提供することができました。

特に、お仕事タイプ診断において「自分に向いているかもしれない仕事をもっと調べたい」と回答した子どもが88.6%に達したことは、今回の体験が将来の職業について考えるきっかけになったことを示す結果だと考えます。

一方で、柏崎・刈羽地域で働きたいかという質問では、「どちらとも言えない」という回答も多く見られました。今後は、地域で実際に働く人や企業との交流をさらに深め、「地域にはこんな仕事がある」「こんな人たちが地域を支えている」ということを、子どもたちにより分かりやすく伝えていくことが重要だと考えます。

これからも、地域の企業・団体の皆様と連携しながら、子どもたちが多くの仕事に出会い、自分の可能性や将来について考えることのできる「お仕事体験塾」を目指していきます。

5 おわりに

お仕事体験塾は教育関係の方、出店事業所の方、保護者方々からのご理解とお支えがあり、継続してくることができました。ですので、皆様からのお声を可能な限りいただくことが重要と考え、毎年アンケートでご意見を集め、可能な限り改善を続けてきております。

また、本事業を通じて地域の大人たちが連携して勤労観・職業観を子どもたちに伝えることで、子どもたちには「柏崎刈羽で働きたい」「柏崎刈羽の役に立ちたい」と、働くことへの意欲と社会貢献への心が間違いなく育まれています。

「地元で働く大人の後ろ姿」や「仕事への自信、やりがい」を伝えることは、「ぼくの町にはこんなすごい大人がいるんだ」「わたしもこんな仕事に就きたい」「お仕事体験塾って全国でもここにしかないの！？すごいじゃん！！」と、柏崎刈羽に愛着と誇りを感じ、未来の柏崎刈羽を創る子どもたちの柏崎愛・刈羽愛が育まれることを願っています。

お仕事体験塾実行委員会

実行委員長	田中 有人			
実行委員	猪爪 拓也	石塚 貴希	岩間 一博	大塚 智輝
	小田麻由美	小野 和也	岸 剛史	近藤多計夫
	斎藤 悠真	清水 淑子	須田 有希	種岡 和人
	永井 勇也	前澤佳奈子	山田 智	山田 大介

(以上 17名)

私たち実行委員会は「お仕事体験塾」の活動を通して子どもたちが郷土に愛着と誇りをもち、働くことの意味を実感し柏崎刈羽の未来を創るすばらしい人材となってくれることを願っています。この報告書をもとに「お仕事体験塾」を発展、進化、継続させていくことができるようお願いながら、今後も活動を続けてまいります。